

令和3年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 ブラジル solidarior 横浜

1 事業の成果

令和3年度もコロナ禍真っ只中ではありましたが、神奈川県及び横浜市のイベントに係る感染防止対策ガイドラインに基づき各種イベントや事業を実施することができました。

一方、日系ブラジル人をはじめ外国籍労働者の雇用状況は改善されずに生活に困窮する方々は増加し、食料支援や生活相談などを継続して実施してきました。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 海外日系人移住者との交流及び支援事業

ア フードバンク事業

- ・内 容 横浜市内の子供食堂、平塚市の外国籍の方々のコミュニティ、群馬県大泉町の外国籍困窮者シェルターなどへの食糧支援
- ・日 時 2021年4月～2022年3月（各所月1回程度）
- ・場 所 横浜市、神奈川県、群馬県大泉町
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 1193人（399世帯）
- ・支出額 45,656円

イ 学生向けフードバンク事業

- ・内 容 コロナ禍でアルバイトがなくなり食料に困っている学生（留学生含む）向けのサンバワークショップと食糧配布
- ・日 時 2021年7月11日（日）14:00～16:00
- ・場 所 神大寺地区センター
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 15人
- ・支出額 3,000円

② 文化及びスポーツ交流事業

ア 健康ウォーキング事業

- ・内 容 横浜にあるブラジルゆかりの地をめぐるウォーキングイベント
- ・日 時 2021年5月29日（土）13:00～17:00
- ・場 所 みなとみらい周辺（横浜市役所新庁舎・ランドマークタワー・横浜国際協力センター・臨港パーク・らら物資の碑・JICA 横浜移民資料館・横浜大さん橋）
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 13人
- ・支出額 13,000円

イ オープンサンバエンサイオ事業

- ・内 容 VIVA113に向けた、オープンなサンバ練習会
- ・日 時 2021年6月19日（土）13:00～17:00（13時に集合したが大雨のため開始できたのは15:00～）
- ・場 所 象の鼻パーク
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 25人

・支出額 0円

ウ VIVA113 de Yokohama 横浜サンバカーニバル事業

- ・内 容 ブラジル移民113周年をお祝いする記念講演/トークイベントと記念ステージショー
- ・日 時 2021年7月22日(木・祝) 10:00~12:00 記念講演/トークイベント、12:00~13:00 日本大通りパレード、13:00~17:00 記念ステージショー
- ・場 所 なか区民活動センター、日本大通り、象の鼻パーク
- ・従事者人員 8人
- ・受益対象者 250人
- ・支出額 171,458円

エ Live solidario 2021 叩・踊・跳・音 つながる横浜事業

- ・内 容 世界の音楽やダンスを幅広く披露するステージショーとブラジル現地からの配信を交えたハイブリッドな配信イベント
- ・日 時 2021年9月20日(月・祝) 13:00~17:00
- ・場 所 象の鼻パーク
- ・従事者人員 8人
- ・受益対象者 150人(日本側) 20人(ブラジル側)
- ・支出額 163,264円

② 地球環境保全事業

ア イペーの木を日本で植樹するための計画事業

- ・内 容 ブラジルの国花であり横浜大栈橋の床材として使われたイペーの木を社員の家庭で育て、横浜の地に植樹すべく計画を立てる。
- ・日 時 2021年10月~2022年3月
- ・場 所 社員の各家庭
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 4人
- ・支出額 0円